

九州歯内療法学会・学術講演会

(日本歯内療法学会協力団体)

学術講演 1

「Bioactive Glass配合歯内治療用材料の臨床活用ポイント」
九州歯科大学口腔保存治療学分野 鷺尾 絢子先生

2017年、歯内治療で行われる様々な処置に適用できるマルチな材料というコンセプトで生体活性バイオセラミックス (Bioactive Glass)を配合した根管充填用シーラー「ニシカチャンネルシーラーBG」が発売された。さらに、2021年には、このシーラーが示す生体親和性・封鎖性を継承し覆髄材、穿孔部封鎖材及び逆根管充填材まで適用範囲を広げた「ニシカチャンネルシーラーBG multi」が発売された。本講演では、ニシカチャンネルシーラーBG multiを臨床活用する上でポイントとなる特徴、適用症例及び臨床研究結果をご紹介します。

学術講演 2

「エンド治療後も続く痛みへの口腔顔面痛専門医の連携」
九州大学病院顎口腔外科口腔顔面痛外来 坂本 英治先生

痛みの原因は、その多くが末梢組織の炎症や外傷に由来する。一方、歯内治療などで炎症を制御できても続く痛み遭遇することがあり、痛みは臨床の現場における重要なテーマの一つである。

これらは口腔顔面痛(OFP)と呼ばれ耳目に触れる機会が増えているものの、どう対処したらいいか、どのようにOFP専門医と連携したらいいかは未解決のままである。本講演では、口腔顔面痛および慢性疼痛の病態とOFP専門医との連携の具体的な形について解説します。

2023年10月29日(日) 13:30~17:00

会場:福岡県歯科医師会館視聴覚室

(福岡市中央区大名1-12-43)

参加費: 5,000円(申込不要/参加費は当日会場で申し受けます。)

・日本歯内療法学会又は九州歯内療法学会の会員でなくてもご参加いただけます。

お問い合わせ先:九州歯内療法学会事務局 kyushuendo@gmail.com